

神戸市会議員
(垂水区)

川内 きよなお

市会報告

ご相談はお気軽に

川内きよなお事務所
神戸市垂水区大町1-2-10
TEL : 080-6175-4877
E-mail : bucfq906@hi-net.zaq.ne.jp

編集・発行 こうべ未来市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844 FAX : 078-322-6161

令和6年第1回定例市会2月議会（2/15～3/26）が閉会



2月15日に久元市長から令和6年度の神戸市予算（案）が提案され、それに基づいて様々な議論を展開して参りました。長引く物価高騰や気候変動による自然災害の増加、全国的な少子高齢化に伴う人口の自然減の加速、子育て支援対策、高齢者福祉、障がい者福祉、年々増加していく空家・空地対策など様々な問題課題の解消に向けて、本会議での代表質疑や予算特別委員会の局別審査において、日頃皆様から頂いていますご意見ご要望を意見反映してまいりました。神戸の未来のために、そして市民のより豊かな暮らしを実現することなどを強く要望して、令和6年度神戸市予算案を承認しました。

2月29日 第1分科会にて

予算特別委員会

3つの分科会に分かれて各局の集中審査が行われ、私は第1分科会に所属しました。交通局・地域協働局・建築住宅局・都市局に質問をしましたので、その一部をご紹介します。

交通局 今後の市バス事業のあり方について

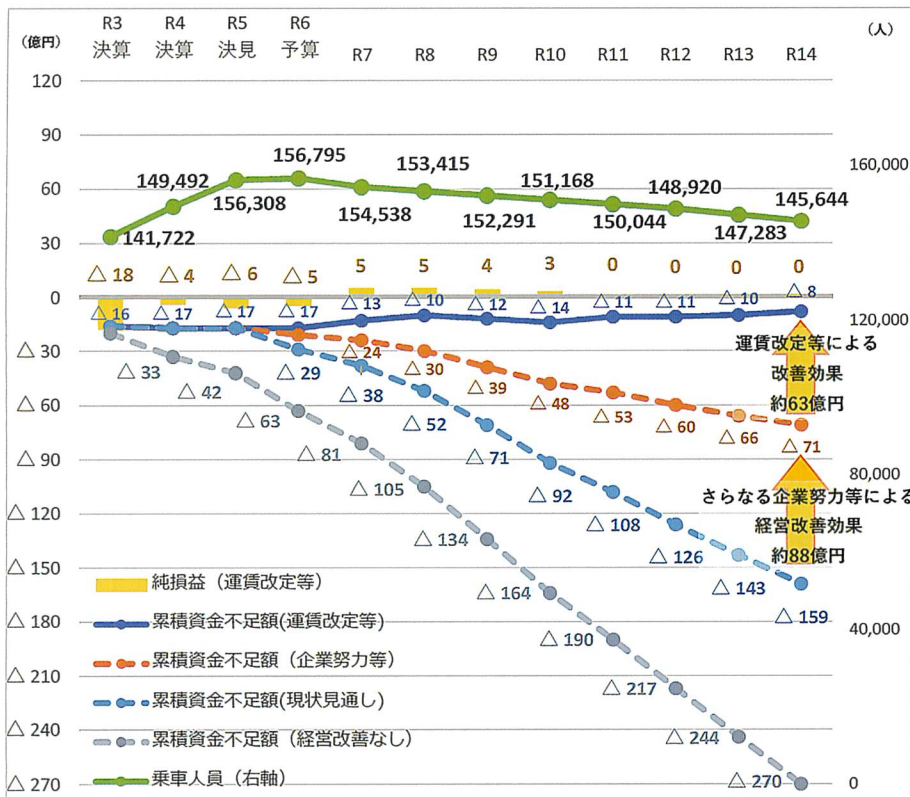
Q 川内議員 交通局より、公営事業存続に向けた短期的観点として市バスの運賃改定や各種割引制度見直し等が提案された。公共交通を取り巻く経営環境が急速に悪化したことに起因する危機的な財政状況のなか、公営交通の存続を最優先とする運賃改定等は仕方なく、理解できないものではない。

しかしながら、市バス事業会計の収支改善という観点だけではなく、バス停の上屋やベンチの設置、ダイヤ最適化などの環境改善や更なるサービスの拡充に努めるべきと考えるが見解を伺う。



A 交通局 公共交通を取り巻く経営環境が大変厳しい中、将来にわたって公共交通を維持し「市民の足」を守っていくため、令和6年度予算案として、運賃改定や各種サービスの見直しについてお示しさせていただいたところである。市バスが便利で身近な存在であることが大前提であり、利用のしやすさや、まちづくりの視点を持って経営を進めていくことは、委員ご指摘のとおりである。「バス停上屋」や「ベンチ」の設置については、バス待ち環境向上の観点からその重要性はますます高まっていくものと考えている。令和5年度からは、まちづくりの観点から、バスご利用の方以外であっても気軽にベンチや上屋をご利用いただけるよう、一般会計の予算もいただきながら、順次設置を進めてきているところである。

●さらなる企業努力・運賃改定等を踏まえた収支見通し



■さらなる企業努力等による経営改善の効果

▶企業努力	28億円
▶路線・ダイヤの適正化	20億円
▶基金投入	27億円
▶一般会計負担	13億円
計	88億円



■運賃改定等による改善効果

▶運賃改定	41億円
▶各種割引制度の見直し	22億円
計	63億円



実施時期：令和6年10月1日予定

見直し前後の運賃 (普通区 定期は1ヵ月)	見直し前後	
	見直し前	見直し後
普通運賃	210円	230円
通勤定期	8,820円	10,350円
通学定期	7,430円	7,430円
高齢者バス	110円	120円

子ども家庭局
○高校生等通学定期券補助の拡充【12.3億円】
→令和6年度（9月2学期～）※通年実施の場合【20億円】
子育て世帯の家計負担減と本市の多様な教育環境を維持していくため、神戸市在住の高校生等が市内高校等に通う場合の通学定期代を令和6年9月より無料化する。

通学先	～令和6年8月	令和6年9月～
市内	現行通り	全額補助
市外	現行通り	

※現行：年額14万4千円を超える通学定期代の2分の1を補助

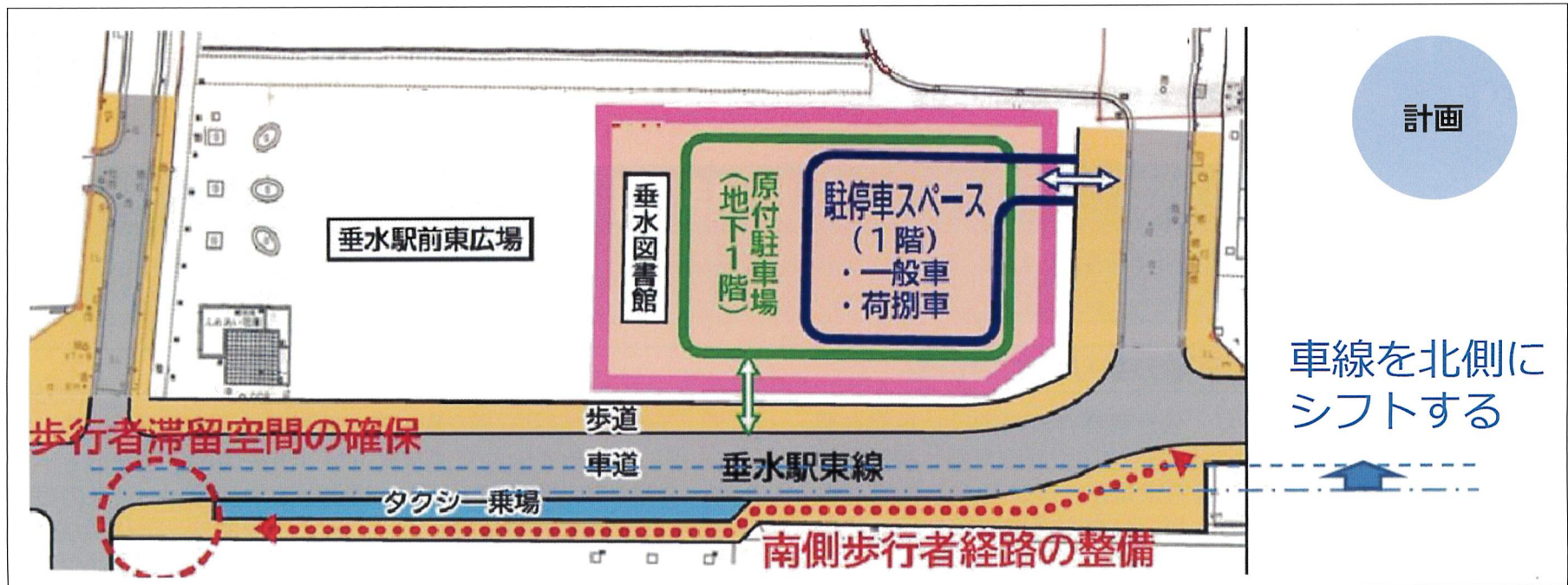
都市局 垂水駅東線の歩行者の安全確保について

Q 川内議員 垂水駅東口北側の交差点は、多くの人が信号待ちをするのに安全に溜まるスペースが不足し車道に人があふれている。また、東西道路の南側（山陽電車の高架沿い）には歩道がなく、東西へ向かう人は車道を歩いている。垂水駅東線の整備において歩行者の安全確保にも取り組むとのことであるが、滞留空間や歩道がどの程度確保できるのか、また、いつ整備できるのか伺いたい。



A 都市局 地元からも駅前交差点の滞留空間や歩行空間の整備について要望を頂いていることも踏まえて、山陽タクシー、山陽電鉄などの関係機関と連携しながら、タクシー乗り場の再整備と併せて、**現在歩道のない道路の南側に幅2メートルの歩行空間を新設する予定**。また、駅前交差点の滞留空間についても**現在の2メートル弱から幅約3.5メートルに拡幅**して歩行者の安全確保を図っていく。令和7年度中には完成させたい。

要望 川内議員 滞留空間、歩行空間においては安全対策も含めて万全な整備を要望しておく。



一般質問

3月26日(火) (1)神戸徳洲会病院について (2)学校と保護者・地域の関わり方について (3)保護者との連絡ツールアプリ(すぐる)について (4)神戸市と保護司会の関わりについて一般質問をしました。今回は質問の一部を紹介します。
※(1)の答弁、(2~4)の質疑と答弁については、次回の市会ニュースでご報告させていただきます。

神戸徳洲会病院について

Q 川内議員 垂水区内に産科・小児科病床を持つ病院がなかったことから、本市では、垂水養護学校・垂水体育館用地において、産科機能・小児を含む救急医療を担う中核的医療機関の募集を行い、選定委員会を経て神戸徳洲会病院に決定した。

神戸徳洲会病院の整備計画書では、新病院開設は令和7年2月となっているが、その後患者の死亡事故が相次ぎ、保健所より昨年8月に行政処分、今年2月に改善措置命令が出されており、この間、新病院の整備がどんどん遅れてしまっている。もちろん、神戸徳洲会病院の医療安全体制の立て直しが市民にとっても最優先事項だが、一方、垂水区の産科や小児科が無いといった地域課題の解決についても急ぐ必要があり、この点について本市としてどのように考えているのか見解を伺いたい。

また、報道等で色々出ているので、地域の方からも不安、心配する声が届いている。神戸徳洲会病院の体制が是正されたかどうかは、本市としてどのように判断していくのか。

既に、神戸徳洲会病院と本市の間では事業用定期借地の契約が結ばれ、令和5年4月から土地の賃貸借が始まっている。あつてはならないことだが、今後も同じようなことが続く場合は、(契約も含めて) どうなるのか伺いたい。

明舞出張所の開設 ~明舞サービスコーナーの移転・機能拡充~

- 概要**
現在の明舞センターにおいては、さまざまな課題が生じているため、神戸市の証明発行窓口を神戸市内に移転させ、マイナンバーカードの処理等が可能となるようなスペースを確保する事により市民サービスの向上を図る。
- 開設場所**
垂水区狩口台1丁目16-2 ビエラ明舞2階 (床面積：約85㎡)
- 対象地域**
垂水区狩口台1~7丁目、南多聞台1~8丁目、神陵台1~9丁目 (人口：約16,400人)
- 付加・拡充する業務**
 - マイナンバーカードの処理 (転居に伴う処理、パスワード設定)
 - 相談窓口 (保険年金医療課業務のリモート相談、福祉相談の実施)
 - 地域コミュニティ活動支援 (地域住民と学生の交流事業の実施、情報発信等)
- 職員体制**
所長、地域活性化担当係長 (新設) 以下5名
- 開設時期**
令和6年秋

<参考1>

明舞出張所・明舞サービスコーナー位置図

